

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 6 回 定例委員会
日 時	令和5年6月9日 自 15時00分 至 15時55分
場 所	第2庁舎2階北会議室
出 席 委 員	教 育 長 福 原 功 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 齋 藤 智 子 委 員 岡 田 秀 樹
欠 席 委 員	高 橋 憲 司 委員
会 議 録 署 名 委 員	岡 田 秀 樹 委員
会 議 録 作 成 職 員	総務企画課主事 竹 中 響 紀
事 務 局 職 員	教 育 部 長 園 田 透 教 育 部 次 長 山 地 吉 明 教 育 部 次 長 齋 藤 貴 志 教 育 部 参 事 東 峰 秀 樹 教 育 部 参 事 桑 島 久 典 学 校 教 育 課 長 江 原 倫 代 生 涯 学 習 課 長 河 本 充 教 美 術 博 物 館 長 藤 原 誠 総 務 企 画 課 長 下 濱 辰 哉 総 務 企 画 課 主 事 竹 中 響 紀
会 議 案 件	別紙のとおり
会 議 の 経 過 概 要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（福原教育長）・・・15時00分
2 会議録署名委員の指名（岡田秀樹委員）
3 会議録の承認
（福原教育長） 第5回定例教育委員会（令和5年5月19日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
-会議録どおり承認-
4 教育長の報告
（福原教育長） それでは、5月19日開催の第5回定例教育委員会以降の主な動きなどについて報告をさせていただきます。
5月23日に令和5年度胆振管内コンプライアンス確立会議が、オンラインにより開催されました。初めに、胆振管内の令和4年度事故発生状況等では、学校職員の事故は道立学校を含めて22件で、その内容は、体罰、わいせつ、窃盗のほか、交通事故・違反の報告が受理されたとのことでございます。また、令和5年度胆振管内信頼される学校づくりに向けた重点目標及び重点的な取組について、「交通事故・違反の根絶」「体罰の根絶」「わいせつ・ハラスメントの根絶」を重点目標に、学校、市町教育委員会、教育局で、研修や出前講座などの取組を展開することとしております。
コンプライアンスに関連して、6月2日の新聞報道で「苫小牧の小学校男性教諭が

体罰」との記事がありました。同日、この事案の報告を受けましたが、不適切な指導(体罰)であり、客観的なものの見方、学校の物差しではなく、今の社会の物差しによる判断ができていない、誠に遺憾な事案でございます。教職員の服務監督については教育委員会が所管するところであり、その教育委員会を代表する者として、来週開催される校長会議で、校長に対し、各学校における教職員のコンプライアンスの順守の徹底を強く指導され、学校運営にあたられるよう申し伝えてまいります。

次に、5月30日に「市民参加と協働の図書館をつくる会」より、「市立中央図書館の運営に関する要望書」の提出がございました。中央図書館の指定管理者制度導入検討段階から、図書館運営に対し、様々な要望、意見を提出されている団体であり、この度は、図書館協議会の位置づけや、蔵書整備計画の見直し、図書館職員の配置や確保など、8項目の要望がございました。私からは、市民など利用者にとって、利便性の良い喜ばれる図書館にしたい思いは、双方とも同じであり、過去を引きずらず、今の時代にあった先を見据えた図書館を目指す考えを伝えるとともに、今後、意見交換の機会を設けることを伝えたところでございます。

最後に、6月3日に、令和5年度美術博物館大学講座入学式が執り行われました。私は別な所用のため、園田教育部長に総長式辞をお願いいたしましたが、コロナ禍により減少傾向にあった受講生が、今年度は、4年振りに100名を超える110名の申込みがありました。郷土の自然や歴史、文化芸術に対する関心と探求心など市民の知識欲に、しっかりと応えてまいります。

私からの報告は以上ですが、何かご質問等ございませんか。

(一同「なし」の声)

5 議 案

第1号 動産の取得について
第2号 令和5年度教育費補正予算について
第3号 苫小牧市社会教育委員の委嘱について
第4号 苫小牧市文化財保護審議会委員の委嘱について
第5号 苫小牧市公民館運営審議会委員の委嘱について
第6号 教職員の事故に関する処分内申について
(福原教育長) それでは次に、議案の審議に入らせていただきますが、議案第1号から第2号は、市議会にて審議予定の案件で、招集告示前に公開することは適切でないこと、また、第3号から第6号は、人事案件でございますことから、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、本会議の日程の最後に審議したいと思いますが、よろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(福原教育長) それでは、議案第1号から第6号を秘密会とすることに決定いたしました。
6 報告・協議
報告(1) 苫小牧市美術博物館の保管するアイヌ遺骨等の取扱方針(案)に寄せられた意見について
(美術博物館長) -苫小牧市美術博物館の保管するアイヌ遺骨等の取扱方針(案)に寄せられた意見について説明-

(福原教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(福原教育長) 苫小牧市美術博物館の保管するアイヌ遺骨等の取扱方針(案)の説明の中で協議相手が苫小牧アイヌ協会となっており、それ以外がその他の関係団体というくくりになっていますが、アイヌ協会を協議相手とし、その他の関係団体からも意見を聞くという色分けをした理由は何ですか。
(美術博物館長) これまで取扱方針の策定にあたって、協会と話をさせていただきました。他の団体からは今回の方針について意見をいただき、その意見を踏まえて協会と改めてどういう意見をお持ちか、福祉部の方でも他に関係団体があるということでご紹介いただいているので、他の団体からも意見をいただいて苫小牧としての考えを協議していければと考えているところです。
(福原教育長) 協議相手が複数の場合、片方が同意していても、もう片方が同意していなければまた戻り、最終的には落ち着かせることになるかと思いますが、そういう考えでいるということによろしいですか。
(美術博物館長) 時間はかかるかと思いますが双方が納得する形に進めてまいりたいと思います。
(佐藤委員) してほしいという意見が多くあり、その中でどういう立ち位置に苫小牧アイヌ協会の方がいらして、そういう要望を出しているのかわからないですが、白老の慰霊施設に移すということはウポポイのことを示していると理解してよろしいのですか。
(美術博物館長) はい。
(佐藤委員) 同じアイヌの方々といっても場所によって暮らし方や考え方も違いますので、北海道の中でも分かれているのは少し分かりますが、胆振管内に関して深く関係していないものからすると、ウポポイはこの地域を代表する施設のような感じで受け取っているものですから、何の疑いもなくウポポイに移すのかと思っておりました。それに対して反対の意見があるということは、何か強い思いがあるということなのでしょう。それ以外にも苫小牧だけではなく、胆振地区または道外のウポポイに

対する考え方、北方に関する考え方もあるかと思いますが、なぜそこに強く反対するのか、教えていただければ歩み寄りというかお互いに理解しやすくなるのではないかと思います。

(美術博物館長) ウポポイの施設の上の方に慰霊施設が別にあり、そこにご遺骨を移すという話なのですが、今回ご意見をいただいた方と直接お話しさせていただいた中では、慰霊施設に行っても慰霊施設に入ることができず、アイヌの人々であっても遺骨の前で手を合わせるできないことが気になっている、また年1回慰霊施設の方では慰霊の儀式が行われているが、その際にも誰も入れてもらえないので、そのような場所に遺骨があってもどうなのかという意見がありました。胆振管内の状況について、本市では地域返還がなければ慰霊施設へという方針を作っていますが、胆振管内では慰霊施設ではなくて地域保管を選択している自治体もあり、地元の協会と話して、それぞれ意見を聞きながら進めている状態です。道内全体でも複数の博物館で遺骨が保管されている現状がありますが、地域返還がなければ慰霊施設へ移したり、地元に残してほしいという意見があれば、それぞれの地元で保管したりと、自治体によって、そこは地域の団体の考えに寄り添うような形で進めている状態でございます。

(佐藤委員) 苫小牧アイヌ協会のエリアというのは本市内だけなのでしょうか。二風谷は二風谷であるのかと思いますが、その途中の町にも関係している団体や協会があるのでしょうか。

(美術博物館長) 町ごとにアイヌ協会や地域団体がありまして、苫小牧は苫小牧のみとなっており、隣町ですと厚真や平取にも地域団体や協会があります。

(佐藤委員) それぞれ皆さんお考えがあつて、本市では今回このような考え方になったということでしょうか。

(美術博物館長) はい。苫小牧アイヌ協会としては自分たちもある程度高齢になってきた中で、継続的に慰霊をしていくことが難しくなってきた時に、将来的なことを考えると、慰霊施設で遺骨を保管してもらおうほうがいいのではないかという意見がありました。

<p>(佐藤委員) 苫小牧アイヌ協会以外のほかの団体には、厚真などの団体も含まれているという理解でよろしいのでしょうか。</p>
<p>(美術博物館長) 基本的には苫小牧市内の団体ということでございます。</p>
<p>(佐藤委員) 私の知り合いに北大に縁があった先生がおり、北大が中心となって遺骨の収集などもしていたようなのですが、そういうことに関しても苫小牧アイヌ協会は地元で、というお考えなののでしょうか。</p>
<p>(美術博物館長) 今回アイヌ協会とお話しさせていただいた内容は本市で発掘された3体のご遺骨についてなので、北大や他の大学の調査で発掘されたご遺骨等についてはまた別のお話になってくるかと思えます。</p>
<p>(佐藤委員) 日本以外のところも北大が携わっていましたので、それに加えて地域で、ウポポイで、というのが私のなんとなくの理解だったものですから、理解不足で申し訳ないです。</p>
<p>(福原教育長) 他に何かございませんか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(福原教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(福原教育長) これより、先ほど秘密会と決定しました議案第1号から第6号について審議をいたします。関係者以外は退席をお願いいたします。</p>
<p>(福原教育長) それでは、委員会を再開いたします。なお、議案第1号から第6号</p>

につきましては、原案どおり決定したことを申し添えます。

7 その他

(福原教育長) 次に、その他でございますが、事務局、委員の皆様を含めて、何かございますか。

(一同「なし」の声)

8 委員会閉会の宣言 (福原教育長)・・・15時55分